



木の家だいすきの会 通信

2018年1月発行

特定非営利活動法人 木の家だいすきの会
E-Mail: office@kinoie.org
URL: http://www.kinoie.org
facebook:
http://www.facebook.com/NPO.KinoieDaisuki

■東京事務所 & 木の家づくりの相談室
〒102-0081 東京都千代田区四番町 3-10 番町 MK ビル 301
TEL 03-6261-2970 / FAX 03-6261-2971
■所沢事務所
TEL 04-2937-7344

新春の候

皆様におかれましてはお健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。

今後も微力ながら、みなさまの住まいづくりのお手伝いにご貢献いたしたく存じます。

NPO木の家だいすきの会 一同

初心にかえる

昨年11月26日に協同組合彩の森とき川主催の伐採見学会がありました。例年と同様に、今年も彩の森とき川による大黒柱プレゼントがありました。思い返すと、「森に緑を、住まいに木を」をスローガンに2001年に木の家リレー講座を埼玉県所沢市でスタートし、2年後の2003年3月、はじめて飯能市内の森林で伐採見学会を開催しました。実現できたのは、「森の保全のために、森と住い手を結ぶ家づくりをしたい」そのためには、「住い手に森に足を運んで直に見てもらい、森の実情を自分の眼で見てもらいたい」という率直な思いが林業家の方に伝わったからだと思えます。

手探りで始まった伐採見学会でしたが、林業家や製材所とのつながりも出来始め、この3年後の2006年10月には、ときがわでの第1回伐採見学会が、協同組合彩の森とき川、NPO3団体、埼玉県の協力で実現しました。この時から数えると今年の伐採見学会は11年目にあたります。現在では、地域の工務店が飯能、秩父、ときがわといった林業地帯の製材所等と組んで伐採見学会や製材所の見学会をごく普通にできるようになり、隔世の感があります。

60年生以上のスギの木が倒れる瞬間の「バリバリ」という音や地響きは、直裁に人の感覚に訴えます。「貴重な経験をさせてもらいました。人生の大切なメモリーになります。伐った木を大事に使わせてもらいます。」という参加者のお話は、そういえば第1回目の参加者の方も同じことを話していました。

私たちが初心にかえり、こうした思いを「森の保全」のための次の一歩につなげていく地道な取組が必要と、あらためて感じたところです。

代表理事
鈴木 進



見学会などのお知らせ

2018年1月20日(土) 構造用合板を使わない、健康で丈夫な木の家 構造・断熱見学会 @埼玉県所沢市

2018年2月11日(日) 大規模リフォーム完成見学会 生まれ変わった築53年の家 @東京都三鷹市

コラム：冬の寒さ対策

エアコンを効率よく使う方法

1月、2月と寒さが厳しくなっていくと、断熱材をしっかり入れているお宅でも暖房器具は欠かせません。床暖房や薪ストーブなど、暖房器具自体が発熱する暖房の方がじんわりと温かさが持続してよいのですが、実際に設置されているのはエアコンのみというお宅も少なくないと思います。エアコンは温度設定も自由ですし、すぐに温風が出るので温風の吹く場所にいれば温かいです。部屋全体を均質に温めるのは不得意です。

そこで、サーキュレーターを1台置いてみるはいかがでしょうか。サーキュレーターは部屋の中心に天井に向けて上向き、またはエアコンと対角線方向の位置に置きエアコンに向けて斜め上方向に向けてみてください。上部に溜まった温かい空気が攪拌されて温度ムラがだいぶ緩和されます。事務所は約8帖プラス廊下部分というような部屋ですが、サーキュレーターを回している方が同じ温度でも温かく感じます。

窓の断熱対策

暖房効率には窓の断熱性能による影響は大きいですが、南面の窓は冬でも晴れた日の窓辺はお日様の力で暖房いらずの温かさです。しかし、日が落ちてしまうと温かさは失われてしまいます。

窓の断熱性能が良くなくても、後からでも改善する方法として、内窓といわれるサッシを室内側に設けて二重窓にする、またはハニカムブラインドという空気層のある不布でできたブラインドの設置も有効です。どちらも冬場だけでなく、夏場の暑さ除けに対しても有効です。事務所に設置しているのですが、築30年超のマンションでガラスは1枚ガラスで断熱性能の低いアルミサッシではあるものの、冬場も夏場も窓際の暑さ寒さを遮断する大きな効果を発揮してくれています。

ただ、冬場に関してはブラインド自体は通気性があるため、水蒸気は遮断できず、サッシの断熱性能や温度状況によっては結露が発生します。事務所の窓は断熱性能が低いので、冬の寒い夜や朝出勤すると結露が発生している時があります。12月のある朝、外気温5.3度で室内温度16.8度・湿度57%でガラス下面に結露が発生しました。窓は南面なので日中外気温が上がり日射も当たると結露は発生しません。ハニカムブラインドは結露防止には有効ではないので、既に結露が発生してお困りの方は内窓を設置して二重窓を設ける方がおすすめです。

mokki設計室
一級建築士事務所
工藤夕佳



エアコン正面の壁下部にサーキュレーターを設置しています



ポリエステル不織布でできているブラインドにはハチの巣状の空気層があります



12月のある朝。掃き出しサッシ下部ガラス部分に結露が発生しています